

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 山梨森林管理事務所
所在地	山梨県 富士吉田市
面積	10.79ha
設定年	1950(S25)年
保護林の概要 (設定目的)	寛永年間に植栽された人工アカマツ林で、富士山世界文化遺産の構成資産である吉田口登山道の一部を諏訪森アカマツ林が担っている。高齢級のアカマツが生育する原生林に準ずる森林で、学術上及び森林施業上の考証として貴重である。このため、高齢級アカマツの生育する群落の希少な個体群を保護するために設定する。



## モニタリング調査概要

実施年度	2007年、2012年、2017年、2022年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、アカマツが生育する林分に計2箇所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	森林調査について、保護対象種のアカマツは、マツ枯れ防止対策の樹幹注入が行われているものの、前回調査と比較して大きな変化は認められない。次世代を担うアカマツの実生が確認されていないため、マツ枯れの被害状況も含め、今後の遷移の動態に留意しながらモニタリング調査を継続していく必要がある。また、ナラ枯れ被害の発生にも留意する。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。